



東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

<検定対策コラム 第一回 3級レベル筆記>

よく知っているつもり単語が思いがけない顔を秘めていることがあります。たとえば動詞 andare。活用形はもちろん、前置詞 a や in と一緒に使うことだって、venire との違いだって、それに andarsene まで知っているんだから...なんでもござれ！しかし.....

① **Senti Marta, ho due biglietti per l'opera. Ti _____ di andarci insieme?**

a) va b) vai c) viene

d) vieni (37回秋季3級 N36 正答率 32.9%)

となるといかがでしょう？ 空欄のほかにも andarci... 同じ文のなかに andare がふたつも？ そうだ、「一緒に行く」んだから andare じゃなくて venire かも....?

② **Sentite, Ragazzi, io muoio di sete! Vi _____ di andare a bere qualcosa al bar?**

a) vado b) va c) andiamo

d) andate (38回春季3級 N38 正答率 31.9%)

こちらは選択肢も andare ばかり。vi があるし、再帰動詞で vi andate かな？

迷ったら、空欄の前の短い言葉 ti, vi に目をつけましょう。再帰動詞だとすれば te ne vai, ve ne andate のように ne が入るので、ti, vi という形ではイマイチおかしいです。だとすると、ti や vi は「目的語になる代名詞」と考えるしかありませんね。そうはいつでも、自動詞 andare とともに使われているのだから直接目的語ということはありえない.....、そうです！ti も vi も間接目的語代名詞なのです。ということは、このなかに前置詞の a が含まれているはずですね。いったいどんな "a" なのでしょう？

ここで Come va? とか Va bene. 「調子が〜だ」「都合がよい」といった語法がひらめいたら、もうこちらのもの。Mi(Ti) va bene 「私(きみ)にとって都合がよい」のなかに正解が秘められています！

①、②とも《andare a +人 di+不定詞》「人にとって〜するのが好都合だ」という慣用句で、《a +人》の部分で、それぞれ間接目的語代名詞 ti, vi になっているのです。不定詞で示される「〜するこ

と」(①②とも「行くこと」)が文法上の主語の働きをしているので、動作の主体がだれであっても andare はつねに3人称単数形 va となります。「行くのはどう?」と都合を尋ねているのですね。①②とも、たまたま主語となる《di + 不定詞》の部分にも、自動詞 va と同じ andare が使われているので、よけい目がくらみますが、Ti va di mangiare il pesce crudo? 「あなた、お刺身を食べるのはどう?」など、di のあとにはさまざまな動詞が来る可能性があります。

使用頻度が高く、もうよく知っているから！と慢心しがちな andare のような動詞については、辞書をいちどじっくり読んで、どのような性格を備えているのか、実態をしっかりと押さえておきましょう。ここにとりあげた用法は、辞書の andare の項目に、独立した語義としてとりあげられています。ついでに、イディオムとしてまとめてある語法もチェックしておく、動詞の全貌をおさえると同時に、「語彙」問題対策にもつなげることができるでしょう。

そして動詞そのものとあわせて、侮れないのは、ti, vi や andarci の ci(ここでは場所の副詞「そこに」)など、綴りの短い言葉たちです。彼らにしっかり注目し、どうしてそこにいるのか、つねに意識的に対応する癖をつけましょう！この小さな存在が大きな意味を持っているのです！無視などしようものなら、とんでもない痛い目にあうこと必至です！
(白崎容子：元慶応大学教授)



＜受験体験記＞

イタリア語の習熟度を測るため、準2級を受験し合格しました。

私の体験を振り返ると、過去問題（準2級・2級）の数年分を解いて自分の弱点を分析・把握し、それを克服できたことが合格の決め手になったと思います。

また、そのために、自分に合った勉強方法を見つけて楽しみながら取り組めたことも良かったです。

私は作文に苦手意識がありました。そこで語学学校に通って定期的に作文を書く環境を作り、添削してもらい書き直す作業を習慣付けました。様々なテーマで作文を書くことで、自信を持って書けるようになり、自分の言葉として使える語彙も増えました。また、普段の生活では纏まった勉強時間が確保できないため、通勤電車でリスニング問題を聞き、就寝前の数分を文法復習の時間にあてる等、僅かな時間を見つけて“この時間にはこれを勉強する”と決めて実践しました。

受験を決めた直後に過去問題を解いた時は、合格点からほど遠く、落ち込むこともありましたが、毎日少しずつイタリア語に触れ、地道に弱点と向き合うことで、解ける問題が増えていきました。その課程を楽しむこともできました。

まだ改善する点が多くあります。更に磨きをかけ、会話の勉強もして次回は2級を受験したいと思います。

佐野 彩

(2013年秋季 準2級合格)

イタリアに行ったのは3年前で、娘とツアーに申し込み、5都市を回りました。美しい世界に魅了され一度でとりこになりました。再度行く事を心に決め、イタリア語の勉強を始めました。

初めは本を見たりテープを聞いたり独学でしたが、解らないところを聞くに聞けないストレスから2年前より学校に通うようになりました。既に50歳を過ぎており、記憶力も集中力も衰えるなか、必死で勉強しました。

そろそろ基礎が終わる頃、検定を勧められ、軽い気持ちで過去問を解いてみました。それがビックリするやらガッカリするやらの低い点数で、きっと無理だろうと思いながら申し込んでみました。

どこへ行くにもテープを聞いて時間の許す限り問題を解きました。何十回、何百回聞くうちに、不思議にゆっくりと聞こえるようになりました。そして、例えば時計の絵が描いてあるとして、時間を問われるのは言うまでもありませんが、普段は・・・という単語が聞き取れたとして、「あっ、電車あるいはバスが遅れていて、今の時間を聞かれるのではないか」と質問の予測ができるようになりました。そして二度目の再生で確認ができるようになり、今まで58点中30点しか取れなかったのが常に40点は取れるようになりました。

そうです、一字一句理解できなくても大丈夫なのです。そうすると検定を受けるのが楽しくて楽しくて仕方ありません。結果はすぐには出ませんが、私にも出来るんだという自信にも繋がって、この検定が私に大きな勇気と希望を与えてくれたのは間違いありません。今はこれからの目標に向かって日々努力を重ねていきたいと思っています。まずは

中村朋子

(2014年春季5級合格)

検定ニュース

◇2014年秋第39回試験志願者数報告

(受験者数/志願者数)

出席者/申込者	1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
札幌	0	6/8	6/8	15/17	14/16	17/20	45/69
仙台	1/1	8/8	5/5	6/7	2/2	9/10	32/33
東京	50/54	131/145	114/134	195/252	210/257	144/193	753/1035
横浜	3/3	12/16	24/25	59/66	44/62	38/54	188/226
金沢	2/2	1/1	2/2	4/8	3/6	3/4	14/23
名古屋	4/4	14/14	12/14	32/38	32/39	22/25	102/134
京都	7/7	23/23	16/17	32/39	42/46	43/49	136/181
大阪	12/13	31/33	40/41	64/80	80/93	58/65	270/325
岡山	1/1	2/2	3/3	5/5	7/8	3/4	30/23
広島	0	0	5/5	6/7	7/9	3/4	23/25
福岡	1/1	7/11	9/9	14/15	18/24	12/17	77/77
宮崎	0	0	0	1/2	1/2	0	4/4
那覇	0	2/2	0	1/2	0	1/1	4/5
ローマ	7/7	3/4	7/7	7/7	2/2	0	34/27
ミラノ	11/11	24/24	11/11	19/21	5/7	6/6	42/80
計	99/104	264/291	254/281	460/566	467/573	358/452	1902/2267

お詫び

1級において:N6の問題が1度しか読まれなかった(録音されていなかった)という音源編集上の不備がありました。不公平であり、動揺した、あってはならないミスである！とお叱りがありました。誠に申し訳ございませんでした。

巻き戻して2度聞いていただいた会場と、そのまま次の問題に進んだ会場とがありました。2度聞いた場合と1度の受験者数はほぼ半々でした。正答率を検証すると両方の場合とも44.4%という同じ結果ができました。従って、対応としましては、N6についてはノーカウントとして採点し(つまり、リスニングの満点は21点となります)、ただし、N6が正解していたのに1点差で不合格となった方にはリスニング1点を追加して合格とすることといたします。今後は音源のマスターをチェックする際、録音波形を監視するソフトを用い、このようなことを繰り返さないようにいたします。お詫びとともに、謹んでご報告いたします。

＜合格体験記(イタリア滞在・留学なしで2級に合格した方)＞ 「検定は最強の伴走者」

もしも自分が検定を受けていなかったら今頃は…と思う。「試験を受けるからこそ人は勉強するものよ」日本語の検定に取り組むイタリア人の友人のこの言葉が私の決意を固めてくれた。同じ所をぐるぐる回るだけでは若い頃の失敗を繰り返すだけだとの忸怩たる思いがあり、若い頃大好きだったドイツ語をきちんと身につけられぬままスペイン語やイタリア語に夢中になり、このままではただ彷徨い続けるだけで終わるという危機感があった。

7年をかけて臨んだ実用イタリア語検定2級。イタリア留学はわずか1週間で50代半ばの私は、中断しながらも4級から伊検を受け続けてきた。NHK講座はもとより自分の運営するサークルのレッスン、引き続き語学学校に週1回通い、並行して37冊の様々なレベルの問題集&過去問を何度もやり、とうとう最後はそれでも点数が届かず検定2級対策通信講座を受けた。シビアに点数が出ることで実力を測れる検定は最強の伴走者でありバロメーターだ。最初から検定を視野に入れているのといわないのではやがて雲泥の差が出てくる、だからなるべく早くから下の級からでも受け始めた方がいいと強く思う。

特に難関の作文は、うろ覚えのままでは正確には書けないため、語尾変化や前置詞との組み合わせやアクセントまで必死に覚えてたくさん書き、たくさん添削していただいた。聞き取りはとてもしっかりしたため、準2級の時は家では落ち着いて聞き取れても本番

ではすっかりあがってしまい失敗、それを教訓に話し手の声も覚える程CDを何度も聞き語彙を増やした。語彙が増えればその分楽になり、文法が分かればスーッと文章が頭に入る。会話力・聞き取り力は留学された方には到底及ばないが、それでも多くのチャンスを捉えてひたすら貪欲にイタリア人と喋り、イタリア語を使うチャンスを自ら積極的に作った。年齢から記憶力も減退しており、恥ずかしい程度何度も何度も辞書を引つつ、ブルドーザーのように日本で毎日毎日勉強し続けた。ああ、若い頃からこそしていればよかったのだ。

春の準2級には1点差で落ちたが秋の2級一次にはぎりぎり合格でき、続く二次試験は手持ちの過去問13冊のテーマをすべてリストアップして15分喋れるように練習、そうして受けた二次対策プライベートレッスンでは要求されるレベルが徐々に高くなり悔いのないレッスンを受け、二次試験では留学された方達と並んで平均点が取れ本当に嬉しかった。

一次の結果を待つ間は精神的にきつく「もしかしたら作文で落ちてくるかも」と思うと涙が出てきて困った。それ程真剣で死にもの狂いだった。伊検2級合格は人生の宝物であり次のステップに進む切符なのだと思う。検定はそして受かってからが実は勝負でもあると気付いた。たゆまぬ努力と情熱は夢が叶った後も決して失ってはならないのだと。

第37回2級合格 柴田陽子

第39回検定でのアンケートから

【ご要望の多かった内容やご意見・ご感想】

- ① **アプリ**については23件のご意見有、便利だ、アプリの問題を増やしてほしいというものがほとんどでした。ただ、問題集発売元出版社との契約の関係上、過去2年の問題集はここには掲載できません。ご理解ください。丸善出版やAmazonのHPから注文できますので、ご利用ください。
- ② **HP**については、かっこ良くして！魅力的にして！という複数のご意見がありましたので、デザインも一新し、さらに内容充実につとめたいと思います。現在でも情報はかなり盛り込んでありますので、ぜひ訪問してください。(対策書籍の紹介・各地のイタリア語学校紹介・次回の検定案内・掲示板には求人も時々掲載・映画や美術等のイベント情報等々) 掲示板は皆さんでどんどんどご利用いただき、情報を交換いただけますので、ご活用ください。
- ③ **受験料**が高いというご意見が毎回ありますので、他の検定と比較してみました。

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	年申込数	備考
イタリア語	¥12,000	なし	¥10,000	¥8,000	¥7,000	¥5,000	¥4,000	3,750人	
フランス語	12,000	10,000	8,000	7,000	5,500	4,500	3,500	28,000人	1級年1回
ドイツ語	12,000	10,000	7,000	なし	6,000	4,000	3,000	15,000人	
スペイン語	11,000	なし	9,000	なし	7,000	4,000	4,000	8,000人	6級¥3,000

(注：申込み者数は最近の1年間で公式に発表の概数です。)

受験料より、申込者数が他の検定よりかなり少ないのが気になりますね。みなさんどうぞ受験者増にご協力をよろしくお願いたします！もちろん協会も努力いたします。

- ④ **1, 2級の年2回実施要望**もたくさんいただきました(34件)。財務的になかなかむずかしいのですが、今後前向きに検討していきたいと思えます。
- ⑤ **早く終了した場合の退場**を認めてほしい、についても13件の要望がありました。以前途中退場を認めていたこともあったのですが、他の受験者からかなりのクレームがありました。がたがたうるさい、集中できない、などの理由です。ご理解ください。なお、体調が悪い場合などは、拳手していただくと監督者が個別対応いたします。
- ⑥ **試験会場を増やしてほしい**。函館・静岡・神戸・四国の希望がありました。受験者住所から将来的には対応の必要があれば、検討していきたいと思えます。以前四国会場はありましたが、1-2名の申込みという現実とお世話くださった先生の移転もあり、中止になった経緯があります。
- ⑦ **会場や監督**についてはおおむね、快適・問題なし・親切・進捗がスムーズというお声を多数いただきました。運営担当としては安心いたしました。ご期待に沿えるよう今後も心掛けてまいります。しかしそれぞれの会場での説明不足や改善の必要もあるものは対応してまいります。特に消しゴム使用による机の揺れなど気をつけます。また、リスニングの音が小さいなどは音だしチェックを徹底し、室温についても開始前にチェックを徹底しますが、寒い・暑いなど気づかれた場合は、どうぞ監督者にお伝えください。
- ⑧ **時計**：貸会場のため設置はできません。腕時計をご用意ください。また、監督者より「あと何分」というアナウンスを数回お伝えすることを全会場に徹底しようと思えます。
- ⑨ **問題集**については、来年度より7月発売できるようにスケジュールを整えました。ご迷惑をおかけいたしました。級別問題集・対策本・語彙や熟語集・リスニング教材・作文教材などの教材は、70件ほどのご要望をいただきました。級別については今後実現できるか検討いたしますが、対策本については語学関係出版社にご要望を出されるというのはどうでしょうか。協会では今回から機関紙 Le Ali に対策コラムを掲載することにいたしました。量的には不十分ですがご活用いただければ幸いです。対策のためにはなにが一番であるかということ、やはり**過去問**といえます。解説もついてますし、暗記するくらい繰り返し使っていただければ、必ず成果は上がります。どうぞ頑張ってください。質問がおありでしたら、ご遠慮なく検定協会にメール(info@iken.gr.jp)までお問い合わせください。また、**問題集の値段が高い**という指摘ですが、仏検は2,500円・独検3,600円・西検2,200円で、伊検は3,000円ですから確かに仏西と比べると少し高いかもしれませんが。数年前まで3,400円の時もありましたが、準2級が追加になったにもかかわらず、努力して下げしております。受験者数から考えて、ぎりぎりのというのが現状です。
- ⑩ **イタリア語検定出題**については、5級なのにリスニングが速すぎるなどのご意見をいただいておりますが、実用の観点からの出題がコンセプトの検定であり、TOEIC 的であるとご理解いただけるとよいと思えます。問題作成もすべてイタリア人であることもあり、表現はあくまでイタリア的となっています。
- ⑪ **作文問題の下書きにマス目**をつけてみました。好評でした。語数が数えやすいようにもう少し、工夫を加えます。
- ⑫ **1級2級で留学しないで合格する人がいますか?**というご質問に、37回検定で2級に合格された方の勉強法を前頁にご紹介いたしました。



その他貴重なアドバイスもたくさんいただきました。今後に反映させていただきます。ありがとうございます。

それでは受験者感想をいくつかご紹介いたしましょう：

- **イタリア旅行でイタリアが好きになり**、50代から始めたイタリア語、単語がなかなか覚えられず、めげることもありますが、やはり勉強は楽しい!!今日検定5級初受験。検定は目標にもなると再認識しました。とりあえず目標は来年3月に4級合格!夢は2020年のオリンピックで、イタリア語を生かしたボランティア活動をすることです。
- **試験開始前の説明事項**で、ため息や貧乏ゆすりなどしないようにという注意のとき、「ここにいるみんなが受かるようにという気持ちで、周りの人に気をつけましょう」と試験官の案内があり、いい意味で驚きました。今まで他の試験でもこんなことを言うてくださる方はなかったです。「心」というものを感じられる瞬間なんてなかったの、すごく素敵だと思えました。
- 合格できることも大切ですが、年1~2回の試験があることで、日々の**学習の励み**になります。(同感想多数有)
- **初めて自分のイタリア語学習の成果を感じたテスト**でした。一時期まったくイタリア語が分からない感じがして、絶望しましたが、今までと違う学習法をたして見て、それが良かったのかもしれない。「わかる」とやる気ができるものですね。
- **もっと勉強すればよかった...!!**ですが、前回より手ごたえがあったので、また次回も頑張りたいと思えます。3月の福岡のイベントに参加して、確実に!!モチベーションのアップにつながりました。ガリレオの話は面白かったです。娘さんとの手紙のやり取りのくだりは今でも覚えてますし、チーズの勘違いの話がかわいかったです。
- 準2級の長文の内容はとて興味深く、読むだけでも勉強になるものすごく為になるとおもった。/ 2級**アスコルト**(N20-22)の内容が面白過ぎて、笑うのをこらえるのが大変でした。

事務局よりホームページ活用のお願 www.iken.gr.jp

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もe-ラーニング・システムで配信しております。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。どうぞどしどしご活用いただければ幸いです。

ご要望等、メール (info@iken.gr.jp) でお寄せください。